

I 教育の理念 =花陵中は一つ=

「教育は人なり」生徒は教職員の姿、親の姿を見て学ぶ。

教職員が率先垂範することはもとより、師弟同行し生徒一人ひとりと関わり、手立てを打ち、指導助言し、支援すること、また、結果がどうなったか確かめて次を考えることが、生徒一人一人を伸ばす方策である。

この実現のためには、教職員が、教育に情熱を持つとともに、誇りと自覚を持ち、生徒一人一人に関わりながらその成長に気づき、共に喜ぶことが大切である。

II 経営の基盤 =チーム花陵=

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、熊本県及び熊本市の教育方針、熊本市人権教育の推進などを踏まえながら、全職員が学校の課題・現状を把握し、組織的・積極的に課題解決を図り、生徒一人一人に生きる力を育成する学校教育を推進する。

III 校訓 =未来に輝くために=

自主	自主的に計画し実行する生徒
気迫	根気よく気迫をもってやりぬく生徒
礼節	礼儀正しく規律を重んじる生徒
健康	豊かな心と強いからだをつくる生徒
協調	協力し励みあい郷土や国を愛する生徒

**IV 学校経営の基本方針 =「目指される花陵中」を目指して=
わくわくする学校 ~生徒に夢と感動を そして、自信と誇りを！~**

校訓を大切にしながら、日々の教育活動を一層充実し、生徒に感動を味わわせ、自信を育み、自らに誇りをもたせ、生きる力を育成する。

V 学校教育目標 =夢に向かって=

=== 信じて 任せて 感謝する ===

自ら気づき、考え、行動する、花陵中生徒

～「場を清め 礼を正し 時を守る」の教育理念の基、人間尊重の精神を基盤に据え、
豊かな人間性と想像力に富み、たくましく主体的に行動する生徒の育成～

VI めざす生徒像・学校像・教師像 =がんばるぞ 声かけあって 前進だ=**●めざす生徒像****《自立した生徒》**

- 広い視野をもち、自ら気づき考え行動できる生徒
- 凛とした言動のとれる生徒
- 学びを求める生徒

●めざす学校像**《わくわくする学校》 《信頼され、活力ある学校》**

- 自らのよさを発揮する活力のある学校
- 規範意識と思いやりの心を育む学校
- 環境を整え、凛とした態度を培う学校

●めざす教師像 《 教育的愛情をもち、自ら学びを求める教師 》**=やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ=**

- 自分を律し不祥事を絶対に起こさない教職員<不祥事5悪“絶対0”宣言>
- 教育的愛情をもち、子どもたちから信頼される教職員
- 教育者として強い使命感と誇り、高い倫理観をもった教職員
- 組織の一員として責任感をもち互いに高めあい協働する教職員
- 豊かな人間性をもち、人権感覚にすぐれた教職員

1 豊かな人間性の育成

- 基本的生活習慣の徹底
- 自己指導力の育成(積極的生徒指導の充実)
- 自己肯定感の育成(特別活動の充実)
- 道徳の時間の充実

2 確かな学力の育成

- 基本的学習態度の育成
- 基礎・基本の徹底
- 教師の授業力向上
- 小中連携による家庭学習の充実

3 健やかな体の育成

- 健康で規則正しい生活習慣の育成
- 食育の推進
- 部活動の充実

4 心を育む教育環境の整美

- 美化活動の徹底
- 緑化活動の推進
- 芸術活動の充実
- 読書活動の充実

● 花陵アクションプラン(全職員共通実践事項)

- ① 3W(チームワーク・フットワーク・ネットワーク)の推進
- ② 学力充実のための授業改善(校内研修の充実)
- ③ 人権感覚に優れた教職員(人権感覚を磨く)
- ④ あいさつ・返事・掃除指導(凡事徹底)
- ⑤ 愛の1・2・3運動の推進(家庭・関係機関との連携)
- ⑥ 教室環境・言語環境の整備(いじめの起きにくい環境づくり)
- ⑦ 報告・連絡・相談の徹底(危機管理意識のアンテナを張る)
- ⑧ 不祥事(5悪)防止の徹底(風通しのよい職場環境)

Ⅷ 教育実践事項 =now for the future=

1 豊かな人間性の育成

(1) 基本的な生活習慣の徹底

- ① さわやかな挨拶の励行
- ② TPOに応じた、けじめある態度の育成
- ③ 整った服装・身なりの習慣化
- ④ 遅刻や忘れ物のない生活習慣の定着
- ⑤ 集会時の無言入場の徹底

(2) 自己肯定感の育成(特別活動の充実) ※自己有用感を高める取組の工夫

- ① 学級・学年活動の工夫
 - ・学級・学年のリーダーの育成
 - ・互いのよさを認め、高めあう仲間づくり
 - ・ねらいを明確化した活動の実施
- ② 生徒会活動の工夫
 - ・生徒会リーダーの育成
 - ・目標を持った生徒会活動の推進(挨拶運動、ボランティア活動、緑化活動など)
 - ・計画的な委員会活動の実践
 - ・生徒の主体的な活動の推進
- ③ 学校行事等の工夫
 - ・生徒が目標をもち、主体的に動く場の工夫

- (3) 不登校生の減少（新たな不登校生0）
 - ① 愛の1・2・3運動の推進
 - ② 特別支援教育委員会等による組織的な対応
 - ③ 教育相談の充実とSC、SSWとの連携
 - (ア) 家庭・関係機関との連携
 - (イ) 不登校コーディネーターによる不登校生徒の状況把握、情報提供
 - (ウ) 生徒指導部会による情報収集、対応の共通理解

- (4) 道徳教育の充実
 - ① 道徳の時間の充実（教材研究と授業の工夫）
 - ② 授業研究会の実施
 - ③ 命を大切に、思いやりのある心を育てる道徳教育の推進
 - ④ 道徳の時間を要とした教育活動全体を通じた指導

- (5) 人権教育の推進
 - ① すべての教職員の人権についての基本的認識の確立
 - ② 教育活動全体を通じた取組の推進
 - ③ 機会あるごとに生命の尊さについて指導徹底

- (6) 保護者・地域への人権教育の啓発

- (7) 図書館教育の充実
 - ① 朝の10分間読書の推進
 - ② 図書館利用の推進
 - ③ 学習・情報センターとしての図書館機能の充実

2 確かな学力の育成

- (1) 基本的な学習態度の育成
 - ① 学習三原則の徹底（・チャイムで着席・忘れ物ゼロ・話は目で聴く）
 - ② 話す・聞く・考えるなどの基本的な学習ルール徹底

- (2) 基礎・基本の徹底
 - ① 分かる・できる授業の推進
 - ② 指導の方法・形態の工夫（個別指導、スキル学習、ICTの活用等）
 - ③ 目標達成テストによる学習意欲の向上と基礎・基本の徹底
 - ④ 指導と評価の一体化

- (3) 教師の授業力向上
 - ① 習得・活用・探求のねらいを明確にした指導の工夫
 - ② 指導の方法・形態の工夫（ICTの活用、個別指導等）
 - ③ 全職員の研究授業の実施と校内研修の充実
 - ④ 校長・教頭による定期的な授業参観

- (4) 小中連携による家庭学習の充実
 - ① 「ネットワーク会議」による小中連携の推進
 - ② P T A・四校会等における啓発
 - ③ 各教科の家庭学習の方法等の指導と評価の工夫

- (5) 情報化・国際化に対応する教育の推進
 - ① I C T機器の積極的活用及び効果的活用（I C T利用の光と影の指導）
 - ② インターネット等を活用した資料収集
 - ③ A L Tの活用

- (6) キャリア教育の充実
 - ① 生徒理解及び生徒の自己理解の深化
 - ② 進路情報資料の収集と活用
 - ③ 進路に関する相談機会の確保

3 健やかな体の育成

- (1) 健康で規則正しい生活習慣の育成
 - ① 健康状況及び欠席状況の把握と家庭との連携
 - ② 養護教諭の専門性を活かした授業への参画
 - ③ 性に関する指導・薬物乱用防止教育の実施
 - ④ 「ネットワーク会議」による小中連携の推進

- (2) 食育の推進
 - ① 衛生管理の徹底
 - ② 授業や給食時間等における食に関する指導の充実
 - ③ ふれあい給食や保護者試食会の開催
 - ④ 給食における食物アレルギーへの対応

- (3) 部活動の充実
 - ① 「運動部活動の指針」に沿った運動部活動の実施
 - ② 楽しさの感得と体力・技術力の向上
 - ③ 思いやりと互いに競い伸びる心の育成
 - ④ 安全管理の徹底（指導者の下での活動）

- (4) 安全教育の徹底
 - ① 生活、交通、災害からの事故防止の徹底
 - ・授業中の事故防止の徹底
 - ・正しい薬品保管と使用（理科準備室、保健室・技術室の薬品庫施錠の徹底）
 - ・火気使用・工作用具使用の授業での安全対策
 - ・安全な生活習慣の徹底
 - ・交通安全意識の向上

- ② 安全点検の強化と危険個所の対応
 - ・定期的な校舎内外の安全点検の実施と即時対応
 - ・通学路の安全点検（P T Aや地域交通安全協会との連携・協力）
- ③ 事故発生時の連絡体制の確立
 - ・危機管理マニュアルの徹底と臨機応変な対応

4 心を育む教育環境の整美

- (1) 心が潤う美化・緑化活動の推進
 - ① 四季の花と緑のある教育環境づくり
 - ② 掃除の徹底
 - ③ 整理された学習環境と清潔なトイレ環境
 - ④ 勤労生産活動の実施（花苗づくり）・学級園の整備

- (2) 芸術的感性を育む行事等の実施
 - ① 一流の芸術を感じる催事の実施
 - ② 文化発表会の実施

- (3) 心和む掲示・広報活動と放送活動の工夫
 - ① 生徒の意欲を育てる学校・学級掲示の工夫
 - ② 校内放送と広報活動の充実
 - ③ 集中連絡板の活用と工夫

- (4) 学校施設・設備の整備と活用
 - ① 現有施設の点検と最大活用
 - ② 教室及び特別教室の整理整頓
 - ③ 運動場及び体育施設の整備
 - ④ 運動用具及び作業道具等の整備と活用

5 生徒行動目標 ＝当たり前のことを 当たり前＝

- 気持ちのよいあいさつ・返事をしよう
- 学校をきれいにしよう（掃除の徹底）
- 校歌を響かせよう
- 学び続けよう
- 仲間を大切にしよう

6 部活動のモットー ＝心と体を鍛えよう ～逃げない あきらめない～＝